

# 組合に 結集し たたかいを

# かいな

全日本金属情報機器  
労働組合 (JMU)  
日本アイビーエム支部  
東京都港区赤坂 2丁目 200 6  
川瀬ビル 5F 〒107-0052  
TEL.: 03-3583-9037  
FAX.: 03-5562-0853

定価 月 500円

## 真に自由闊達な会社を

### NEW 大岡義久新委員長決意

新年度の発足にあたり、強制調査に入ったという新委員長として、一言「ニュースがありました。挨拶いたします。」

#### 従業員軽視の 会社の姿勢

記憶に新しいことと思いますが、4000億円の新生自衛隊問題で、東京国税局の税務調査を受けたことや粉飾決算問題で、証券取引等監視委員会が



大岡義久新委員長 (大和事業所)

「退職強要」によるリス  
トも大きな問題です。これは「人」を「物」として扱う従業員軽視の会社の姿勢が出ています。このような考え方は、粉砕する必要があります。

「退職強要」によるリス  
トも大きな問題です。これは「人」を「物」として扱う従業員軽視の会社の姿勢が出ています。このような考え方は、粉砕する必要があります。

最後に、私たちは多くの情報を持っています。「かいな」「組合ホームページ」でみなさんへ情報提供していきます。また、私たちと一緒に闘う気持ちのある方は組合への加入をお待ちしています。



高橋正夫組合員

高橋正夫組合員が定期健康診断で3年連続(2003年~2005年)として胸部レントゲン写真の異常(肺癌)を見落とされ、発見が3年遅れたとして本社健康支援センターの医師2名(産業医を兼務)の医療ミス、ならびに会社(日本IBM)の使用責任等を問うて東京地裁に損害賠償請求(2008年4月)した事件は、本年6月2日に結審しました。結審と同時に裁判長より和解勧告がなされ、協議の結果、本年7月21日、裁判長斡旋により原告高橋組合員と被告3者(医師2名、会社)の間で和解が成立しました。

### 「泣き寝入り」せず 闘い続ける

「編集部」裁判所に提訴する前、被告3者はいっさい話し合いに応じなかったですね。

## 癌見落としと裁判で和解 原告の高橋さんにインタビュー

### 健診体制の改善も進む

を通じて被告3者へ話し、和解成立まで2年3カ月  
合いによる解決を求めたの間、闘い続けたわけですが、被告3者はいっすね。  
「編集部」高橋さんとして裁判の位置づけをどのように考えていらしたのですか。  
「編集部」第一義的には私の医療ミスの原因を明らかにすることでした。第一に、原因に応じた再発防止策を会社として講じてほしい、この2点が私の希望でした。後者に  
「編集部」最後に、「かいな」読者のみなさんへ一言お願いします。  
「編集部」それぞれの立場で様々なご支援をいただきました。この闘いを生み出したことには感謝しています。「かいな」紙面をおかりして御礼申し上げます。  
「編集部」今後、「健康に留意され、高橋さんの信条であるボランティア活動などを楽しくしてください。ありがとうございました。

### 生涯忘れられない 出来事

「編集部」現役組合員から定年退職を経てOB組合員へ、裁判中に再手術を受け、心身ともにたいへんだったと思いますが「高橋」再発や手術の恐怖感は何れも去ることができません。ただ、裁判は真実を明らかにすることです。私の精神衛生上、とてもポジティブだったと思います。

だと思いました。真摯に向かい合えば裁判にならない道もあったと思います。

### << 訃報 上谷 力組合員急逝 >>

8月13日、上谷 力組合員(箱崎事業所・サービスマネジメント・ITD)が出張先のホテルで亡くなりました。享年56歳でした。ご冥福をお祈りいたします。

上谷組合員は、亡くなる直前まで過酷な状況でプロジェクトタイプの仕事をこなしていました。死の原因は何なのか、現場でこのようなことがおこっていることを会社はどのように受け止めているのか。今、会社の自浄能力が問われています。今後、組合は会社を追及していきます。